まちライブラリー@さんさんくらぶ
ゆいま～るライブラリー
大阪市立此花図書館
大阪市立西淀川図書館

ゆいま～るライブラリー

イベント参加者数：22人
来場者数：月に1~2人

　ゆいま～る福では、ゆいま～るライブラリーとして今回で3回目の参加。居住者の一番の関心事は健康のため、認知症については西大阪訪問看護ステーションの理学療法士の日高憲司さんより、誤嚥性肺炎については言語聴覚士の石川陽介さんより、講話と簡単な体操を教えていただいた。居住者とスタッフおすすめの健康に関する本を設置。当日は居住者が育てていている蘭を展示して、華やかな雰囲気の中楽しく開催。参加者は居住者の他、巣箱を作っていただいたちょいボラおやじの会の方々。ありがたいご縁をこれからも大切にしていきたい。

5/11（土）14:00-15:30
「皆で予防しましょう～認知症・誤嚥性肺炎編」

オーナー：田中陽子
担当者／レポート：橋本直美

大阪市立此花図書館

イベント参加者数：27人

4/27（土）11:00-11:30「春の子ども会」

風が冷たい日でした。開始時刻が迫っても、館内に子どもの姿はまばら。しかし、絵本の読み聞かせが始まると、徐々に親子連れが集まりにぎやかになりました。
絵本、紙芝居、パネルシアターなどを見てもらいましたが、『きみはライオン!』という絵本では、皆でいっしょにヨガのポーズをとり、大いに盛り上がりました。
図書館で過ごす時間がこんなに楽しめることを、あらためて知ってもらえたのではないでしょうか。

5/14（火）10:30-12:00「読書会番外編ー私の出合った本」
（此花区民一休ホール1階　第1会議室）

それぞれが持ち寄った本を紹介し合いました。
本の感想にとどまらず、参加者の経験が披露されるなどして話は尽きず、あっという間でした。
紹介された本は、此花図書館内に紹介文とともに展示する予定です。

オーナー／レポート：大阪市立此花図書館

大阪市立西淀川図書館

4/21-5/19「読書会この10年-こんな本を読んできた-」

西淀川図書館の読書会で最近10年間に取り上げた本をまとめて紹介しました。たくさんの方が書架の本を見てくださり、展示図書のリストを持ち帰ってくださいました。一冊の本を囲んで様々なことを語り合う、読書会の楽しさをお伝えできたかな、と思います。

オーナー／レポート：大阪市立西淀川図書館

まちライブラリー＠一乗会
まちライブラリー＠足のコト相談所
湯里住吉神社の小さな図書室
まちライブラリー＠草屋根さぶら
大阪市立東住吉図書館

まちライブラリー一乗会

イベント参加者数：13人

5/4（日）13:30-15:30「食品中の有害添加物について」

テーマを「食品中の有害添加物について」として開催。ゴールデンウィークであった為、最初の予定した参加者は少なく１４名で論議しました。
健康維持に於いて大事な事で活発な論議ができました。１５：３０までの予定をしていましたが１時間、超過した程です。殆どの人は今後の食品の選び方を変えてゆかねばとの意識を持たれましたその中で今迄、食べ続けて何の病もなく７０年、生きてこれたので今後も食べていくという考え方もあり有意義な会でした。また、参加された方は一乗会会員、まちライブラリー関係者、会社の友人、写経会関係者よが行の関係者、太極拳の関係者、詩吟の会の関係者、その他様々な縁の方々が集まり、まちライブラリー開催の目的である本を介しての縁を紡ぐ事を少数ながらも示現できました。

担当者／レポート：竹澤　博

大阪市立東住吉図書館

イベント参加者数：31人

4/21-5/19「えほんの木に花を咲かそう」

来館された方に、花の形のカードに「あなたの好きなえほんの思い出や、おもしろいと思ったところ」などを、自由に書いていただきました。カードは、えほんコーナーの木の幹のパネルに貼っていき、紹介していただいたえほんも展示しました。ご自身の子どもに読み聞かせした絵本を紹介してくださったお母さんや、覚えたばかりの平仮名で一生懸命書いてくれた小さなお子さんのカードもあり、見ていると心が温かくなります。

4/28（日）14:00-15:00「赤ずきん＆ドロップスの春のおはなし会」(東住吉会館　大会議室)

ボランティアグループ赤ずきん＆ドロップスのみなさんによる愛をテーマにした絵本のよみきかせや紙芝居など、もりだくさんの内容でした。
赤ずきん＆ドロップスのみなさんのおすすめ絵本もたくさん展示しました。

オーナー／レポート：大阪市立東住吉図書館

まちライブラリー@ぐうたら文庫
すみよし隣保館寿　図書室
まちライブラリー@カフェしらかば
人形劇団クラルテ　アトリエ
大阪市立住吉図書館
大阪市立西成図書館
大阪市立住之江図書館
みのり文庫

まちライブラリー@ぐうたら文庫

イベント参加者数：4人

5/5（日）お昼頃から-おやつの時間くらいまで ぐうたら文庫さがせ！

昨年まで、「ぐうたら文庫のらくがき天国」を開催し、毎年5月にイベントを実施することが、定着してきたように思います。
そこで今回は、「ぐうたら文庫をさがせ！」というイベントを開催し、ちょっとだけ遠方の方も来てもらえるようにしました。もちろん、らくがき天国はそのままに、クイズをつけ足しただけのイベントですが。
予想に反して、新たな大人の方が1人来てくださいました。しかしご近所の別のライブラリーと間違えていったりして、大変だったそうです。ぐうたら文庫を見つけた時にはぐったり…。お茶飲んで本見てもらって休憩したら、「次は迷いません」と帰っていかれましたー。

オーナー／レポート：相宗大督

人形劇団クラルテ　アトリエ

イベント参加者数：187人

人形劇プログラム
11時『きかんしゃポーくん』『だぶだぶ仲間森へいく』
14時『しずかなおはなし』『ソーニャと森の魔女』

2階に絵本コーナーを設置、ガレージでは“おまつりひろば“として、ちょこっとシアター・ミニ人形劇の上演、遊びのコーナーなど
入場料金：前売1,200円、当日1,500円、クラルテ友の会2割引、1日通し券2,000円（3歳以上有料）
参加人数は、有料187人、2歳以下を含めると約200人の参加があった。絵本原作の人形劇の上演と、ミニステージや遊びのコーナーなど一日中楽しんでいただけるイベントだった。
参加者同士が遊び、楽しさを共有することができた。
ブックフェスタとしての参加者は見られなかったが、大阪市内を中心に多くの親子が人形劇を観に来てくださった。
すぐ目の前での役者が演じるので、臨場感もあり観客の子どもたちの反応もあり、会場全体が一体感あるものとなった。

担当者／レポート：松澤

みのり文庫

イベント参加者数：6人

これまで家庭文庫として運営してきたが、以前から本を寄贈したいとの声もあり、「子どもと楽しむ絵本サロン」としたイベントを行った。パンフレットや看板を見て新規に数名来ていただけ、絵本等を寄贈いただくことができた。
寄贈いただいた絵本等はまちライブラリー@みのり文庫として常設貸し出しを目指したい。
みのり文庫は、月1回の定期開催のみなので、常設とするまちライブラリーが、今後地域の子どもたちにどのように受け止められるか、未知数の面もあるが、今回色々な意見が聞けてよかった。

5/19（日）14:00-16:00「子どもと楽しむ絵本サロン」

オーナー／レポート：奥野修

大阪市立住吉図書館

イベント参加者数：31人

4/27（土）10:00-11:00「春のおはなし大会【午前の部】」

ボランティアグループ住吉絵本の会によるおはなし会。絵本、パネルシアター、おはなし組木、手作りの小道具を使ってのおはなしなど、バラエティ豊かなプログラムで、子どもたちも積極的に参加して楽しんでいただいていました。

4/27（土）15:00-16:00「春のおはなし大会【午後の部】」

ボランティアグループくすのきによるおはなし会。絵本を読みながらみんなで立ち上がって体を動かすなど、子どもたちも大人も楽しんで参加していただいていました。

5/12（日）10:30-12:00「迷タイトル誕生!!！読んでみたいなこんな本。」

図書館の本を使って、新たな本のタイトルを作るゲームですが、趣旨が伝わりづらかったのか参加者が思ったように集まりませんでした。また、参加してくださった方も小さい子どもさんを連れておられるなど、ゲームを楽しむに至らない状態でした。その後、集めた図書を閲覧室に並べて、作ったタイトルをポストイットに書き込んで、貼り付けていただくコーナーを2週間ほど設置しました。

オーナー／レポート：大阪市立住吉図書館

大阪市立西成図書館

イベント参加者数：3人

5/19（日）10:00-11:30「図書館でアナログゲームを楽しもう」(西成区民センター会議室2-3)

ブックフェスタのパンフレットに掲載していただいたり、図書館入口の展示ケースで関連展示を開いたりと、広報に力を入れたにもかかわらず、事前申込みの参加者は1名と、需要がありませんでした。
当日は計3名の参加で、小学校5年生の参加もあったので、『夢中になるトランプの本』から「うすのろ」というゲームを、『大人が楽しい紙ペンゲーム30選』から「古今南北」というゲームをしました。その他、市販のアナログゲームから、「クラッシュアイス」「空とぶじゅうたん」「さるやま」などをしました。
小学生から「さるやま」をもう一度したいとアンコールがでるなど、参加者自体は楽しんでいました。
オーナー／レポート：大阪市立西成図書館

大阪市立住之江図書館

イベント参加者数：3人

5/11（土）14:00-15:30「おとなの絵本持ち寄りパーティー」（住之江会館　和室）

司会役の司書を含めて4名が、それぞれ持ち寄った、思い入れのある絵本やおすすめの絵本を紹介しあった。
立場はそれぞれ異なり、また絵本を選んだ理由や視点は様々であり、話題は尽きず、お互い新鮮な情報交換になった様子。アンケートでは全員が「思いもよらない本に出会えた」にチェックを入れていた。まちライブラリーはよく知っているが当館への来館は初めて、という方もいて、イベントで紹介された絵本をさっそく探して借りておられた。楽しく、刺激を受けるひとときになったという手ごたえを感じる。
それだけに、参加人数が少なかったのは残念。当館の図書ボランティアや区内小学校のボランティアにもチラシを配布したが、参加が得られなかったのは意外であった。内容自体はハードルの高いものではないはずなので、また同様の催しを時期をみて開催してみたい。

オーナー／レポート：大阪市立住之江図書館

OSAKA 茨木市

まちライブラリー＠茨木Seven Step Music
まちライブラリー＠OIC（立命館大学大阪いばらきキャンパス）
まちライブラリー＠ 巡りごはん いろは
cafeりょくまちライブラリー
まちライブラリー＠あまがえるさいえ
まちライブラリー＠ caféなかちよ
茨木市立中央図書館
茨木市立庄栄図書館
茨木市立水尾図書館
茨木市立穂積図書館

まちライブラリー@OIC

イベント参加者数：830人
来場者数：1720人

OICではブックフェスタ期間中、利用者が意識してイベントを行うことは少なかったが、パンフレットを見て茨木市内や他のまちライブラリーの話をするなど、普段OICにしか関心のない人が他のまちライブラリーを認識して頂く良い機会となった。
いばらき×立命館DAYは一箱古本市やおはなし会をはじめ、9つのイベントが開催。子供向けのおはなし会は5つの団体がそれぞれに違う形で、趣向を凝らしたイベントが行われた。館内イベントは茨木ビブリオバトルが開催、5月初旬から行われていた「壁ビブリオ」の結果発表もあり、普段の利用者をはじめ本が好きな方が一堂に集まり、参加者それぞれが楽しまれる姿が見られた。

4/27（土）「まちライブラリーお茶会」

（主催：まちライブラリー事務局＜大橋＞）（参加者：9人、紹介された本：9冊、寄贈本：4冊）
毎月第4土曜日のお茶会は恒例になってきた。初参加は2人。参加者がそれぞれが違うジャンルの本を紹介することが多く、自らは選ばない本に興味が持てるとの意見があった。

4/27（土）「読む＋　カズオ.イシグロ『わたしを離さないで』」

（主催：金憲子）（参加者：7人、紹介された本：3冊、寄贈本0冊）
臓器移植やテクノロジーの話など、幅広い意見交換が行われた。またノーベル賞受賞者の作品のため、村上春樹との比較の話にも展開した。

5/11（土）Discussion in English

（主催：西田恭子）（参加者：4人、紹介された本：１冊、寄贈本：0冊）
同時開催のイベントがあり、別のイベントの参加者が途中で参加する場面があった。テーマが点字で、大学生の話が題材。

5/11（土）読書会「人生に必要な知恵はすべて幼稚園の砂場で学んだ

（主催：梶正人）（参加者：３人、紹介された本：1冊、寄贈本：0冊）
自己紹介、本日の目的、達成目標を発表しあうことからスタート。その後全員でキーワードに沿って感想を共有した。

5/16（水）ハピハピちゃんのパーソナルカラー

（主催：八田さなえ）（参加者：５人、紹介された本：冊、寄贈本：0冊）
自分の着たい服と似合う服の違いを話合っていた。ホワイトボードを使い、分かり易く可視化していた。

5/16（水）古事記を語ろう

（主催：吉野庄三）（参加者：９人、紹介された本：２冊、寄贈本：０冊）
毎月１回、恒例のイベント。今回は古代史と天皇についての文献を基に発表。常連の参加者を中心に実施した。

担当者／レポート：大畑元彦

茨木市立中央図書館

来場者数：40446人（

5/19（日）10:00-16:30
『移動図書館ともしび号in「いばらき×立命館DAY」』

移動図書館による本の貸出や、図書館にまつわるクイズの出題を行いました。
　移動図書館では、参加者が棚から本を選んだり、子どもが芝生の上で本を読んだりといった姿があり、本を借りる方もおられました。
　クイズは、図書館ボランティアとともに行い、参加賞の三角しおりをもらった子どもは、うれしそうでした。イベントに参加し楽しんでいただくことで、本や図書館を好きになるきっかけを作ることができたと思います。参加者551人

担当者／レポート：井谷　太亮

5/11（土）12（日）11:00-16:00
「こどもの本交換会」

　会場にあるメッセージカード付きの本と、自分の持ってきた本を交換できるイベントを行いました。
自分が持ってきた本に次の人へのメッセージを書いたカードを貼ってもらうのですが、子どもたちが真剣にメッセージカードを書いたり、本を選んだりする姿が印象的でした。
イベント参加者104人、会場への来場者220人

担当者／レポート：福嶋　光

4/23（火）～5/19（日）
「“掘り出し物”見つけましたー２年間いちども借りられなかった小説」

イベントのちらしをイベント開始の１週間程度前から事前告知として設置していたところ、すでに始まっていると思い、探している方もおられました。
　イベント中、２年間いちども貸し出しされなかった日本の現代小説約85冊を特集コーナーに展示し、すべの展示本の内容と作者紹介をボードに張り付けました。
　熱心に紹介文を読む方が多く見られ、80冊以上あった図書も、ゴールデンウィークに入る頃には、ほとんどが借りられてしまいました。
　貸出のなかった図書も紹介の方法によっては、興味を持ってもらえることが分かりました。

担当者／レポート：川嶋　智子

茨木市立水尾図書館

イベント参加者：20人
来場者数：21,053人

5/19（日）11:00～12:00「紙芝居を楽しもう！」

水尾図書館のおはなし室で紙芝居を楽しんでいただきました。
「まちライブラリーブックフェスタ2019in関西」のイベントが、同日に市内で立命館大学等の複数の施設で開催されるなか、休日でもあったことから、小さい子を連れた親子を多く見かけました。
普通サイズの紙芝居はもとより、普段見かけない大型紙芝居を、図書館職員による実演で行いました。
参加者は、おはなし室にちょうど入場できるほどの人数で、靴を脱いで、安心してゆったりと紙芝居を楽しまれている様子でした。

担当者／レポート：広沢　由美子

茨木市立穂積図書館

イベント参加者：28人
来場者数：24,598人

5/19（日）10:00-15:00「こどもの本交換会」

このイベントは、図書館ホームページ、ブックフェスタの冊子、市広報、ポスターなどで告知しましたが、校園配布チラシを見ての参加が多かったようです。
　同じイベントを中央図書館でも開催しましたが、このイベントを気に入られ、両方に参加された方もいらっしゃいました。
　期間中の来館者数は、ゴールデンウィーク10連休を全て開館した影響もあり、多くの方が来館されました。スタンプラリーのため、イベント以外の日に来館された方もおられました。

担当者／レポート：樋口　聡美

茨木市立庄栄図書館

イベント参加者：39人
来場者数：15,908人

5/19（日）10:00-16:30
『移動図書館ともしび号in「いばらき×立命館DAY」』

紙に包まれて、題名も表紙も見えない絵本を、図書館職員の書いたヒントを読んで借りていただくイベントです。
　０～３歳までのちいさい子向け、幼児向け、小学校低学年向けをそれぞれ20冊用意し、ひとり1冊選んで借りてもらいました。　親子連れで熱心に選んでいる姿や、借りた本を嬉しそうに持ち帰られるお子さんの姿が印象的でした。

担当者／レポート：広沢　由美子

まちライブラリー@Umidass
まちライブラリー@らららとよなか
まちライブラリー@みのおキューズモール
クーネロコまちライブラリー
豊中市立蛍池図書館
豊中市立岡町図書館
豊中市立高川図書館
豊中市立庄内図書館
豊中市立野畑図書館
とよなか男女共同参画センターすてっぷ・情報ライブラリー

まちライブラリー@らららとよなか

イベント参加者数：40人

２月のイベントで来られた近所にお住まいの方が、お母様が宮沢賢治の弟さんと交流があったとのお話。詳しくお聞きすると、『雨ニモマケズの手帳』が発見された場に居合わせたとして有名な詩人・永瀬清子さんだとわかり、急遽、ブックフェスタでは、当初の予定に加えて、イベントを追加。神戸の影絵劇団白つめくさによる『注文の多い料理店』の上演、永瀬清子さんを巡ってご子息とお話する場をつくり、多数ご来場いただきました。

豊中市立蛍池図書館

イベント参加者数：30人
来場者数：5600人

4/23（火）,4/30（火）,5/7（火）11:00-11:20
乳幼児向けおはなし会　おはなしもこもこ

蛍池図書館の絵本コーナーで、毎週火曜日に開催しているおはなし会「おはなしもこもこ」では、参加している親子が絵本のくりかえしの言葉を一緒に声に出したり、こちょこちょあそびを楽しんでいました。
展示コーナーには、ブックフェスタ冊子に掲載されているイベント関連本を展示しました。置くとすぐに手にとって見ておられ、関心が高かったです。
まちライブラリーに参加することで、地域のみなさまに本と人をつなぐイベント情報のご紹介ができ良かったです。
尚、おはなし会は、担当スタッフが毎週代わります。常連の方や初めての方にも毎回違った雰囲気をお楽しみいただけるとうれしいです。

担当者／レポート：八田　尚子

豊中市立庄内図書館

イベント参加者数6人
来場者数：200人（リサイクル本販売開催日1か月間　協働事業スペース利用者）

イベントは館内のチラシなどを見た方、リサイクル本販売日に通りかかった方にご参加いただきました。

リサイクル本の棚から本を数冊取り出してグループで楽しむ「直観読みブックマーカー」という本の遊びをおこないました。後半は、地域の歴史についてお話しされる方を中心に庄内地域について語り合い、あっという間に1時間がすぎました。

5/14（火）11:00-12:00「庄内図書館長と話そう」
毎週火曜日10:00-16:00
「リサイクル本販売」（しょうないREK）

担当者／レポート：西口　光夫

豊中市立岡町図書館

イベント参加者数：20人
来場者数：20368人

4/21（日）～5/19（日）岡町図書館開館日
男はつらいよ　５０周年・寅さん本大集合

まちライブラリーブックフェスタに合わせて、本の展示「男はつらいよ５０周年　寅さん本大集合」を実施しました。
岡町図書館の名誉市民・山田洋次ライブラリーの寅さん関連の書籍をピックアップして、展示、貸出をしました。
岡町図書館２階貸出室にて、まちライブラリーブックフェスタのチラシをＡ２版に拡大して展示しました。
また利用者が立ち止まってご覧になられていましたので、どのようなイベントかご理解されたと思われます。

須藤館長
担当者／レポート：古山正章

5/16（木）14:00-16:00
「動く図書館@植物園～みどりのライブラリー～」

さわやかな青空の下、『動く図書館@植物園～みどりのライブラリー～』と題し、服部緑地都市緑化植物園に乗り入れました。

普段の巡回先ではないため来場者数は少なめでしたが、逆に混雑することなくお越しの皆さんそれぞれに絵本の読み聞かせや読書相談など、ゆったりすごしていただけました。
また、貸出人数以上に来場者数は多く、それらの方々にも動く図書館を身近に知って楽しんでいただけたと思います。

豊中市立野畑図書館

イベント参加者数：66人

「よちよちえほん」「おはなしひろば」は当館の定例おはなし会です。「よちよちえほん」はおもに乳幼児を対象とし読み聞かせや手遊び、わらべうたなどを楽しんだあと、午前中いっぱいお部屋を開放し保護者のみなさん同士が交流していただけるスペースにもなっています。「書庫に入れるＤＡＹ」は中学生以上を対象とした行事で豊中市立図書館の共同書庫を開放し、自由に閲覧、貸出を行っています。書庫ＤＡＹはリピーターの方も多く、

「毎回楽しみにしている」「気になっていた作家の本をみつけた」「ずっと書庫にいたい」

などの声が寄せられました。

4/24（水）15：30-16：00「おはなしひろば」
5/1　（水）15：30-16：00「おはなしひろば」
5/15（水）15：30-16：00「おはなしひろば」
5/3　（金）10：30-11：00「よちよちえほん」
5/19（日）11：00-15：00「書庫に入れるDAY」

豊中市立高川図書館

イベント参加者数:64人
来場者数:5434人

レコード展「あぁ懐かしの昭和歌謡 ～美空ひばりから松田聖子まで」

平成から令和にまたがる時期に昭和歌謡を聴く！昭和生まれの私にとっても、今回の展示は往年のスターのジャケットを一堂に見た事で脳内タイムトリップをし、ワクワクが止まりませんでした。豊中の図書館では市民の寄贈を含む約三千枚のレコードを所蔵しています。年２回のレコード展を通して来館のみなさまに広く知っていただく機会にしています。今回は「北摂ライブラリー」の写真展も同時開催し、地元の昔の写真を見つつ、古き良き昭和時代に思いをはせる楽しいイベントになりました。

5/4（土）～5/15（水）「北摂ライブラリー」写真展を同時開催

担当者／レポート：末吉利香

とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ　情報ライブラリー

スタンプラリー参加者数:4人
来場者数:6140人

告知はTwitterと館内の掲示を行い、情報ライブラリー利用者に声掛けをした。まちライブラリーの冊子に掲載された当施設の案内にスタンプラリーのマークが抜けていたためか、スタンプラリーへの参加が初めてだったためか、スタンプの押印を目的に来室する人はほとんどいなかった。しかしながら、参加者の中には「来年もぜひやってください」といってくれた方もいて、続けていくうちに参加者が増えていくのではないかと感じた。また、スタンプラリーの景品（情報誌「まちライブ」）の見本があれば、利用者にもっとアピールできたと思う。

レポート：指定管理者：一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団
担当：藤長

OSAKA 旭区・枚方・守口（京阪沿線）

コスモス文庫
まちライブラリー＠姿勢専科のKCSセンター
まちライブラリー＠関西医科大学滝井病院透析センター
まちライブラリー＠門真市中塚荘
まちライブラリー＠いのこうの家
大阪市立旭図書館

まちライブラリー＠いのこうの家

イベント来場者数：100人

5/18(土）.5/19(日）10：00～17：00
『カフェ＆ぎゃらりー いのやん亭』

『カフェ＆ぎゃらりー いのやん亭』は、猪谷工務店の事務所でもあり、昔ながらの古民家「いのこうの家」にて、アクセサリーや雑貨等のハンドメイドクラフト作家、エステやネイル、整体等の出店者が集いました。
また、スイーツや飲み物のカフェコーナーもあり、賑やかに、それでいてほっこりできるイベントになりました。
告知は、出店者の口コミやＳＮＳでの発信、チラシを作成、配布してお知らせしました。
お客様の中には、毎年スタンプラリー参加されてる方や「前からここが気になってたけど入れなかった」とおっしゃる方。様々な方がいらっしゃいましたが、ブックフェスタがまちライブラリーファンの増えるきっかけになればいいなと感じました。

大阪市立旭図書館

イベント来場者数：9人

5/11（土）14:00-16:00「読書交流会　この絵本が私のツボ！おとなの絵本読書会」

今回で4回目の「大人の絵本読書会」。参加された方々の数だけ、さまざまな絵本が紹介されました。赤ちゃん絵本から大人向けの絵本、子どもの頃自分が気に入っていた絵本もあれば、今の子どもたちに読み聞かせをして評判がよかった絵本の紹介など。外国語で書かれた本では、フランス語で書かれたサウスアラビアを舞台にしたバンドデシネの本、英語の絵本、中国語の本を手に入れるのが困難だった時代の中国語の絵本…と、珍しい本を持ってこられた参加者もおられました。

絵本そのものの説明だけでなく、絵本を読んだ時の子どもたちの様子も話題となり、充実したひと時となりました。

オーナー／レポート：大阪市立旭図書館

まちライブラリー＠東大阪市文化創造館

イベント参加者数:64人

5/18（土）14:00-17:00
第1回サポーター会議 まちライブラリーを知る

平成から令和にまたがる時期に昭和歌謡を聴く！昭和生まれの私にとっても、今回の展示は往年のスターのジャケットを一堂に見た事で脳内タイムトリップをし、ワクワクが止まりませんでした。豊中の図書館では市民の寄贈を含む約三千枚のレコードを所蔵しています。年２回のレコード展を通して来館のみなさまに広く知っていただく機会にしています。今回は「北摂ライブラリー」の写真展も同時開催し、地元の昔の写真を見つつ、古き良き昭和時代に思いをはせる楽しいイベントになりました。

レポート：奥井希

まちライブラリー@MOBIO

イベント参加者数:10人

5/8（水）18:00-19:30「大人の読書会」

本イベントは、大人の読書会と銘打ち、ものづくり企業の経営者、従業員のみなさんで様々なテーマの図書を読み、それぞれの角度から感想を語り合い、深め合うことにより、経営の在り方、課題解決手法、企業間連携、地域コミュニケーション等、日本のものづくりの今後について幅広く模索していこう！というものです。
今回のテーマは「ザ・プラットフォーム　ＩＴ企業はなぜ世界を変えるのか？」でした。
巨大IT企業の基本原理から、日本のIT企業、ECサイトなどなど色々な話が出て、議論は大盛り上がり。
気の合った仲間で2次会に行かれる人たちもいました。

担当者／レポート：中野元史

しらゆり文庫まちライブラリー

読書会について
思い返せば、私が読書好きになった切欠は、“たつみやしょう”に出会ったことだろうと思います。図書館によく通っていた頃でした。この作者の本を、もっもっとたくさん読みたいと思うのに、作者が本を書かれている期間が短く、世に出ている本は少なく残念で仕方がなかったです。その後、古書祭りで見つけた岡本太郎著『原色の呪文』では、目からうろこが落ちたというような鮮烈な思いがしました。新書を置いている書店では出会えないし、また図書館でも出会えない（書庫に入っているので）。要するに私たちが一般に通う書店では出会えない本があることにも気づきました。その頃から古書店に通うことが多くなりましたが、古書店の仲間同士で、作家さんを呼んだりと色々な企画をされていることにも気づきました。古書店でありながら、現代の作家さんと関わっていることにも興味を持ちました。
　また、あの有名な吉川英治著の多くの本を読んでいく内に、本の時代や題名が変わっていくが、その中に作者そのものではないかと思われる人物が見え隠れしながら存在していることにも気づいたのです。
　一人の作家を追いかけていく楽しさを感じていたある日、関心を持った作品のことについて、作家さん本人に直接聞いてみたいと考えたことがありました。
　それで出版社にメールで問い合わせたところ、それ程真剣に読んで下さったことが嬉しいと言われ、作者のメールアドレスを教えてくださいました。それで直接メールでお尋ねすることが出来たのです。本を大切に読んでいる読者に対しては、作家さんは喜んで下さり、答えて下さるのだと知りました。
　そんなことも考えながら、読書会に繋がるメンバーを集めたいと考えています。小さな書店にも、作家さんが来られていますし、古書店にも作家さんが来られていることもあります。私はそれらを見つけたら、必ず参加しています。本を書かれた方に出会えるのは本当に楽しいものです。自分の読み込んだ気持ちと違う場合もありますが、それも面白いなと感じます。
　読書会を開くと、自分以外の思いがけない視点に出会うこともあり楽しいと思うことがあります。作者や作品を追いかけながら、読書会を続けていく先には、生きておられる場合にはお呼びしてお話しを聞く機会も作りたいなと考えています。共に本を深めていくメンバーを求めています。

テキスト：中山登代子

大阪樟蔭女子大学田辺聖子文学館

来場者数::297人

大阪樟蔭女子大学田辺聖子文学館では、同企画のスタンプラリーに参加し、館内にスタンプカードとスタンプを設置した。残念ながら、4月21日から5月19日の29日間の開催期間中、ゴールデンウィーク期間および日曜日が休館であったため本館開館日数が18日間と限られていたうえ、本館の企画展示などの組まれていない時期であったこともあり、スタンプラリー参加者はほとんど見られなかった。館内に、近隣のスタンプスポットの案内を掲示するなど、来館者に関心を持ってもらい参加を促すよう工夫すべきであったと反省している。
開催期間中の来館者は297人であった。

まちライブラリー@大阪府立中央図書館

今回のブックフェスタには、スタンプラリーのスポットとして参加した。
まちライブラリー@大阪府立中央図書館は、図書館エントランスに設置されていることもあり、普段から人通りは頻繁で、本を手にとってご覧になる方も多い。
ブックフェスタ期間中も、たくさんの方が本を読んでいたが、そんな中、スタンプラリー参加者がいらっしゃり、初めて来館しました、という嬉しい言葉をいただいく機会が何度かあった。スタンプラリーというしかけがあってこそ生まれた初来館で、とてもありがたく思う。
今後も、まちライブラリーと図書館の相乗効果を念頭に、運営につとめたい。

東大阪市立図書館

イベント参加者数::1417人

イベントは3日前位から問い合わせも多く、図書館も整理券を用意するなど、混雑に備えた。それでも、どの館も想定を上回る来場があり、写真撮影希望者の列ができた。貸出も多い図書館もあった。
例年の着ぐるみショーの中で、一番参加が多かった。
10連休中もコンスタントに来館があった。

永和・大蓮：5/11（土）「おしりたんていがやってくる」
その他、定例おはなし会

花園・四条：5/12（日）「おしりたんていがやってくる」
その他、定例おはなし会

担当者／レポート：東大阪市立図書館/担当下村恭子

OSAKA 八尾

井戸端まちライブラリー@茶吉庵
まちライブラリー@みせるばやお

OSAKA 近鉄南大阪線・河内長野線

まちライブラリー@ほんくらじない.
まちライブラリー@とんだばやし
まちライブラリー@すばことしょかん
まちライブラリー@飛鳥
むらライブラリー@道の駅ちはやあかさか
河内長野市立図書館

河内長野市立図書館

来場者数：32,878人

4/21（日）～5/19（日）
①帯で本を選んでみよう
本を紙で覆い、帯を貼り付けて並べました。
帯だけを情報源に本を選ぶイベントです。
②帯みくじ
おみくじ形式で当たった本を借りてもらうという
イベントです。（大人向け・子ども向け）

「本の帯まつり」としての参加は3年目となりますが、前から知ってくださっている方もあれば初めて知った方もいらっしゃいました。ブックフェスタパンフレットも送付いただいたものがほとんどなくなりました。
「帯で本を選んでみよう」は表紙を見せて本を置くのに比べて貸出が多いとは言えないですが、「面白いね」と声をかけてくださる方もいらっしゃいました。「帯みくじ」は子どもたちに人気でした。

担当者／レポート：浅井育子

OSAKA 堺

まちライブラリー@創ぞうの樹
まちライブラリー@みみはら
まちライブラリーぷらざ　ひといき
まちライブラリー@ほーぷサロン
まちライブラリー@すまいる
わがま{ま}ちライブラリー
まちライブラリー@2位

まちライブラリー@2位

今回は特にイベントの開催はなかったのですが、来年はイベントを考えています。
SNS／Wagamama projecsのFacebookページにて貝塚メンバーのスタンプラリーイベントなど拡散しました！今年中に、English café@まちライブラリー２位を定期開催していく予定ですので、ぜひ遊びに来てくださいね。

オーナー／レポート：小野沙耶花　Wagamama projects

とんだばやしMikoライブラリー

スタンプラリー以外のイベントは参加していませんでしたが、朝日新聞に掲載されてからご年配の方の来訪者が増加しました。
フェスタ期間中、最後の1週間で延べ人数20名ほどは普段より多かったと思います。（通常は利用者1日1～2名計算です）
戦争体験を語っている方がご自身の話をまとめた本や、エスペラント語の紹介の本など、献本くださる方ご自身が思い入れやメッセージがあり
それをライブラリにおいてほしいという形で献本くださることが増えました。スタンプラリーは残念ながら利用されている様子は見受けられませんでした。

ＵＰっぷ　まちライブラリー

イベント参加者数：83人
来場者数：134人

　UPっぷまちライブラリーではブックフェスタ期間中に、コーヒーを飲みながら、ゆっくりと本を読むの「まちライブラリーカフェ」を３回、また5月2日にワークショップ「オリジナルしおりをつくろう」を開催しました。
　「オリジナルしおりをつくろう」では様々な形に切り抜いた色とりどりのペーパークラフトや、参加者自身が持ってきた写真や押し花で自分だけのオリジナルしおりを作りました。「何かを作るのは久しぶり」という方もじっくりと楽しんでいました。
　「まちライブラリーカフェ」ではまちライブラリーサポーターによる読み聞かせの時間があり、小さなお子さん連れのお母さんや放課後の時間を過ごす小学生まで一緒に楽しんでいました。
　期間中のスタンプラリーについてはスタンプ押印が２回にとどまりましたが、まちライブラリーのオープンを目指す他県の方と有意義な情報交換ができました。

4/25（木） 5/8（水）まちライブラリーカフェ内イベント「読み聞かせ」
5/2（木）ワークショップ「オリジナルしおりをつくろう」

担当者／レポート：ＵＰっぷ世代間交流ひろば　中尾みのり

まちライブラリー＠布土木PaPa文庫

来場者数：80人

ブックフェスタ開催に合わせて、まちライブラリーをオープンしました。ブックフェスタのパンフレットを見て、いつもは別のまちライブラリーを利用されてる方がご来店くださり、その方が第一号会員になりました。
お店に来たお客様にも、まちライブラリーに興味を持っていただき、アンケートなど記入していただきました。
これからもっと、まちライブラリーについて知っていただき、
地域の皆様に親しんでもらえる場所にしていきたいと思います。

OSAKA 泉大津・高石

板原こどもの家　まちライブラリー
ホンノワ2
ホンノワまちライブラリー
まちライブラリー＠高石市立図書館

ホンノワ２

イベント参加者数：10人

ブックフェスタ期間中のホンノワ２の来館者：アウトドアに設置の巣箱型本箱の為来館者数は不明。期間中本箱の中に寄贈本が何冊か寄せられた(普段はあまりない)。利用者が普段よりも増加している気配。ブックフェスタのパンフレットを持って行く方も多数。

5/16（水）11:0-13:00　ホンノワ的学校の作り方

新聞の『とんだばやしMikoまちライブラリー』の紹介記事をきっかけにSNSでイベントを知り参加された方もおられた。参加者は市役所の職員や、フリースクール主催者、図書ボラ、小学校教員、経営者、食育関連の活動家など少人数ながら多様な背景の方々が集まり、学びや、まちづくりを考える熱いディスカッションとなった。アフター会では和やかに言葉を交わしながらお弁当タイムを楽しんだ。スタンプラリーでブックフェスタを楽しんでおられる様子も見られた。今回のブックフェスタを通してゆるくつながっている事の面白さを再認識し、また実験的なテーマに取り組めた事で今後の活動の新たなきっかけづくりができた。

担当者／レポート：浜田直子

OSAKA 岸和田

岸和田市立図書館
まちづくりの館

岸和田市立図書館

イベント参加者数：10人

4/27（土）14:00-15:00「岸和田のこころに残る景観をみんなで話そう」

岸和田市内には、海から山まで様々な地域を特徴づける優れた景観が沢山あります。そのどれもが人々の思い出や記憶に残る物語があります。これまで市民の皆さんから応募されたこころに残る景観資源を写真をご紹介しながら、参加者の皆さんのお勧めするこころに残る景観を思い出話とともに座談会形式で行いました。まち歩きやブログでの情報発信などこれからの取組みなどにも話題が展開しました。
参加者12名。

担当者／レポート：岸和田市都市計画課

4/27（土）10:30-12:00 プロ婚活コーチが教える、恋愛モテ術・結婚モテ術

　恋愛＆ライフコーチの松浪敬子氏による「プロ婚活コーチが教える」第1弾のセミナーが開催されました。
今回図書館の講座では初の「恋愛」に関するテーマだったので、どうなるかわからなかったのですが、たくさんの方にご参加いただき、終止和やかな、笑顔あふれる講座となりました。恋愛関係に関することだけでなく、職場の人間関係や、友人関係を築くためにもとても役立つお話でした。好評をいただき第2弾、第3弾の開催も決定しております。参加者14名。

担当者／レポート：塩田

5/5（日祝）13:00-16:00 旅する本（おすすめ本）の交換市

市立公民館とコラボで開催しました。
市立公民館は、通常開設している「旅する本」コーナーの拡大版を約1ヶ月間、図書館は、「旅する本（おすすめ本）の交換市」として、こどもの日に開催しました。
夫婦、親子、カップル、それぞれ思い思いの本を持ち寄り、交換してくれていました。常設コーナーとして立派なコーナーが出来ました。参加者15名。

担当者／レポート：藤田

5/11（土）14:00-16:00　ＬｉｂｒａｒｙでＬｉｖｅあり？　Ｖｏｌ．３

静かな図書館でお気に入りの曲を流し、本や音楽にまつわる話を共有したい・・・そんな少し型破りながら楽しく、熱い想いが形になって3回目を迎えました。
参加者それぞれの歩んできた道、これからのことなどを聴いていく過程で共感あり、多方向への話の広がりあり。とても充実した時間となりました。ＢＧＭの「糸」の歌詞どおり、見事に縦糸と横糸が紡がれ、素敵な布が織り上がった気がします。

ＳＮＳを通じて知り合った全国各地の読書好き有志の皆様により組織された「読者大賞実行委員会」から【ナイス本の企画賞】も贈られ、本と音楽と人を繋ぎ、輪が広がることを願うこのイベントに花が添えられました。参加者14名。

担当者／レポート：宮畑

5/11（土）10:00-12:00　繊維の魅力にせまる～綿花を植えてみよう～

全国コットンサミット実行委員会事務局・松下隆氏による、綿花についての講座を開催しました。綿花について歴史的背景から現代の栽培や地元産業の活性化につながる貴重な話を聞き、参加者も興味深く聞き入っていました。ご自身の体験談を元に参加者の方々にも語っていただきました。

最後に、実際に綿の種うえを体験しました。参加者11名。

担当者／レポート：花田

5/12（日）15:00-17:00　君たちはなぜ走るか？～ランナー井戸端会議～

すでに走ることを日常生活の中に取り入れている方、これから走り始めたいという方が集い、現状報告や多岐にわたる質問など終始和やかな雰囲気で、実のりある楽しい井戸端会議となりました。
走るようになったきっかけ、そしてそれを後押ししてくれた本の紹介で始まり、お気に入りのコースやモチベーションアップのためにしていること、継続の秘訣などお互いに語り合うことで、今後のラン生活の参考になったことと思います。
次回に繋がり、「ランニングを始めました」「〇〇大会に出ました」という嬉しい報告が大いに期待できる会となりました。参加者18名。

担当者／レポート：宮畑

5/18（土）10:30-12:00　プロ婚活コーチが教える、彼氏ができる読書術

恋愛＆ライフコーチの松浪敬子氏による「プロ婚活コーチが教える」第2弾のセミナーが開催されました。
前回参加の方数名と、ちらしを見て初参加してくださった方が数名いらっしゃいました。今回は読書術をテーマにお話しくださいました。本を読んで終わりなのではなく、実行することが最重要である。自分にとっての運命の1冊に出会うための秘訣や性格別のおすすめ本の紹介があり、今まで読んだ本ではピンとこなかったのは自分の状態にあっていなかったからではないか、自分にあった本とはどういった内容なのか、先生の例を使った話から気づきました。

担当者／レポート：塩田

5/19（日）14:00-16:00知的書評合戦　ビブリオバトル

6名のバトラーで戦いました。
発表作品は
筒井頼子著「はじめてのおつかい」
ホセ・ルイス・サンペドロ著「エトルリアの微笑み」
礒田和一著「書斎曼荼羅」
飯田茂実著「一行物語世界は蜜でみたされる」
ジョセフ・メイザー著「数学と論理をめぐる不思議な冒険」
楢崎宗茂監修「秘蔵浮世絵大観」
チャンプ本は
「一行物語世界は蜜でみたされる」でした。

テーマは自由だったのですが、発表作すべて「絵」が共通するという面白い偶然があったビブリオバトルでした。

岸和田市立まちづくりの館

イベント参加者数：10人

5/4（土・祝）14:00-16:00「災害は忘れたころにやってくる」

近年、過去の災害を教訓とした防災意識が高まっており、古文書や遺跡から災害の規模や言い伝えを伝承していく取組みが重要になっています。今回、歴史的町並みが見られる市立まちづくりの館にて、岸和田を中心とした大阪が体験した過去の災害を振り返り、参加者の皆さんと防災について意見交換を行いました。参加者からは、地域のつながりが減災に大きく影響する事や、街歩きなどで過去の災害を振り返るきっかけになったとのお話しを頂きました。参加者15名。

担当者／レポート：岸和田ブックフェスタ実行委員会　渡邉

OSAKA 貝塚

fam
ハピネスバコ
貝塚市民図書館
ホンノわとわ
貝塚市立山手地区公民館

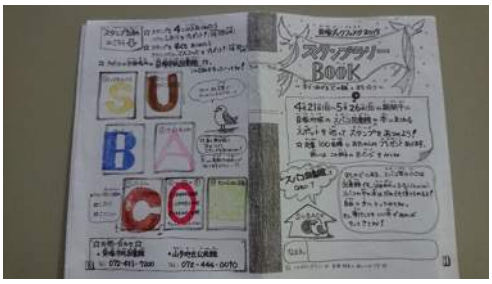
ハピネスバコ

今回、貝塚ブックフェスタ2019スタンプラリーを企画して、関西ブックフェスタ2019にもエントリーさせてもらいました。貝塚スタンプラリーでは貝塚で立ち上がった各スバコ図書館に実際に足を運んでもらえるきっかけとなり「見に行ったよ」の声かけが嬉しかったです。貝塚ブックフェスタまるごとパネル紹介ではスバコ図書館以外の絵本にまつわるグループにも参加してもらい、貝塚の様々な絵本の活動を公民館に来た人にも見てもらえていました。絵本ピクニックではひまわり号とともに様々な本の紹介をし、開放的な場で老若男女が本を楽しむ姿が見れ、各スバコイベントも賑わい、顔の見える交流ができたと思います。そこで開催されたハピネスバコ的秘密カフェ広場イベントから新たな企画、大人の自由研究スパイス研究会が立ち上がりました♡このブックフェスタからスバコ図書館同士の繋がりが深まり、今後も定例会を継続して本をつうじた地域交流、まちづくりをしていきたいなと話しあっています。良き、きっかけをありがとうございました！

貝塚市民図書館

イベント参加者数：162人

5/12（日）11:00-13:00「絵本ピクニック」



　5月12日（日）午前11時から午後1時、貝塚市内水間公園「芝生の広場」にて貝塚市民図書館・貝塚市立山手地区公民館・貝塚スバコ図書グループの共催、もりのえほん文庫・貝塚パン笛の会の協力のもと「絵本ピクニックを開催した。
　好天に恵まれ、たまたま水間公園を訪れていた親子連れにも声をかけるとたくさんのかたが立ち寄ってくれた。おすすめの絵本を手に取り、楽しんでもらえたと思う。図書館からは、移動図書館車「ひまわり号」が参加し、いつもとは違った景色の中で本を選んでもらえた。

4/27（土）11:00-12:00「おたのしみ会（ストーリーテリングで楽しむ昔話）」
5/11・18（土）11:00-11:30「おはなし会」
5/12（日）11:00-13:00　「絵本ピクニック」in　水間公園芝生広場
4/21（日）～　5/26（日）「貝塚ブックフェスタ2019スタンプラリー」

スタンプスポットが広範囲にわたったため、すべてのスタンプを集めるのはなかなか難しかったように思う。全種類のスタンプを集め、プレゼントのマスコットを手にした女の子のうれしそうな笑顔が印象的だった。

担当者／レポート：岩本　浩子

ホンノわとわ

イベント参加者数：4人

貝塚ブックフェスタの告知とその様子を市の広報に載せていただきました。写真付きで載せていただいたので、載ってたね！と知り合いに声をかけていただきました。正直に言うと、関西ブックフェスタのパンフレットに掲載いただいたのですが、問い合わせはゼロで、どちらかというと、こちらがパンフレットを手渡しで配って「ライブラリー活動やってます！」と知ってもらうためのツールであったな、と思いました。
ライブラリーサミットに初めて参加しました。ＦＡＣＥＢＯＯＫで偶然見かけた絵本のおうちさんに、サミットの前に連絡をとっていたので、当日にご挨拶出来てうれしかったです。
インスタでいつも拝見させてもらっている、藤井寺のすばこ図書館のエリカさんともお話出来てよかったです。
普段なかなかお話をきくことができない方の話をきくことが出来る、ライブラリー活動を続けていくモチベーションアップにつながるなぁ と思いました。

OSAKA 泉佐野・熊取

まちライブラリー南大阪
熊取町立熊取図書館

熊取町立熊取図書館

イベント参加数：127人
来館者数：13,510人

4/27（土）～5/6（月）
連休特別企画「春の書庫たんけん」

長いゴールデンウィーク中、図書館で楽しんでもらおうと、『春の書庫たんけん』を実施しました。毎月行っている「書庫見学」に福引や地下探検を組み込んだり、おはなし会を書庫で行ったりと、いつもと違う図書館を楽しんでいただきました。

　まちライブラリーのパンフレットは、フェスタ開催前から設置しましたが、見ている人や持ち帰る人もたくさんいました。フェスタ期間の来館者数は、フェスタ期間外と大きな変化はありませんでしたが、ゴールデンウィークということもあり、熊取町に帰省されている方が来館していたり、様々な方が来館されている様子でした。スタンプラリーは、子どもに人気でした。

OSAKA 泉南・阪南

まちライブラリー＠阪南市地域交流館
まちライブラリー＠住み開き
まちライブラリー＠ウィーアーシェフ

HYOGO 尼崎・伊丹

まちライブラリー＠カフェぷろぽ
書斎の鍵
伊丹市立図書館ことば蔵カエボン棚
伊丹市立図書館ことば蔵

まちライブラリー＠あまがさきキューズモール
古書 みつづみ書房
まちライブラリー＠LADDER BOOKS

まちライブラリー＠カフェぷろぽ

当店では読書を通じてひとりの時間をゆっくり過ごしてもらうことをコンセプトにしていうので、イベント等はおこなっていませんが、本の寄贈も増えて色々なジャンルの本をみなさん楽しまれています。今回のフェスタではパンフレット設置のみの参加でしたが、まちライブラリーがあちこちに増えていることをみなさんに知っていただけたと思っています。

担当者／レポート：真田圭子

伊丹市立図書館ことば蔵カエボン棚

イベント参加数：7人

5/15（水）18:30-20:00
おすすめの本の交換会カエボン部テーマ「五月病に効く本」

おすすめの本を持ち寄って交換するカエボンを開催しました。
今回はテーマ「五月病に効く本」ということで、児童書・絵本・ビジネス書・四コマ漫画等、さまざまな本が紹介されました。
その本のどこが好きなのか、どう五月病に効くのか等を話し合いました。参加者が自由に気軽に話せる、とても温かいイベントとなりました。
最後は、それぞれ自分の持ち寄った本のオススメしたい内容を書いたオリジナル帯を作成し、カエボン棚に寄贈して頂きました。

担当者／レポート：岩本　浩子

伊丹市立図書館ことば蔵

イベント参加数：26人

5/19（日）14:00-15:00
知的書評合戦ビブリオバトル テーマ「新」

おすすめの本のプレゼン合戦ビブリオバトルを開催。新元号「令和」にちなみ、今回のテーマは「新」でした。
ことば蔵のビブリオバトルは、バトラーや観客が円形に座り、アットホームな雰囲気の中で行われます。しかしながらバトルが始まれば白熱そのもの。
詩集から小説まで様々なジャンルの本が集まり、6名のバトラーによる熱いプレゼン合戦が繰り広げられました。
見事令和初のチャンプ本に輝いたのは「妻のトリセツ」でした。
参加者17人。

担当者／レポート：ことば蔵ビブリオバトル部）

5/11（土）13:00-15:00
いたみ文芸ことそうし

自作の文章を持ち寄り、披露し合う「いたみ文芸ことそうし」を開催しました。
参加者4名が、自分で書いた作品を持ち寄り、音読にて発表し合いました。フィクションや、自分の思い出に関する話もあり、とても個性あふれた作品を共有し合いました。お互いの作品をより良いものにするために、文章の校正や表現の仕方について少し議論しました。また、作品の背景や描写について語り合いました。
さまざまな作品に触れ、想像を膨らますことで、会場が和やかな雰囲気に包まれました。

担当者／レポート：伊丹市立図書館ことば蔵　井上雅史

5/12（日）13:00-15:00　ZINEワークショップ

写真・絵・文章などを自由な方法で綴り、自分だけのオリジナル冊子をつくる「ZINEワークショップ」を開催しました。講師は、ZINEを国内で広めた第一人者の堺達朗さんをお招きしました。
今回は、子どもから大人まで5名の参加となりました。入院生活中のブログや、雑誌の切り抜き、大好きなリスとの想像のお話など、それぞれ自分の思いを詰め込んだ5冊の素敵な作品が完成しました。最後は、お互いの作品を手に取って読み合い、感想を話し合いました。
作品は、ことば蔵１階にて展示しています。参加者5人。

担当者／レポート：伊丹市立図書館ことば蔵zine部

HYOGO 西宮・宝塚

リトル書房まちライブラリー
子ども絵本文庫ぷくぷく
西宮流まちライブラリー
ネスカフェドルチェグストCafé & Library
まちライブラリー@Maimyshop
尼崎の森まちライブラリー
まちライブラリー@津ながり
スタジモにしのみや まちライブラリー
まちライブラリー@マリナパーク海のまち
まちかど農園ライブラリー
まちのね文庫@HAMACO:LIVING
西宮市立北部図書館

リトル書房まちライブラリー

イベント参加数:30人

4/28（日）13:00-17:00「LaQであそぼう!!」
5/12（日）10:00-11:30「大人の塗り絵体験教室」

今回は２つのイベントを開催しました。

いずれも初めて開催したイベントでしたが、これまでの絵本読み聞かせ会といった幼児向けではなく、小学生対象の「LaQであそうぼう!!」と大人対象の「塗り絵体験教室」を行いましたので、たくさんの皆様にご参加いただき、参加者の幅が広がりました。

また、ブックフェスタのパンフレットを置かせてもらいましたが、手に取っていただける方が増えて、認知度が高くなってきたと感じました。

オーナー／レポート：後中淳司

ネスカフェドルチェグストCafé & Library

イベント参加数:26人
来場者数:4675人

３月に開館して以来子育て世代やシニアを中心に利用されている。買い物合間の休憩や、ネスカフェドルチェのアンテナショップとしても活用されている様子。
4/25には大幅な内装変更を行いキッズスペースが利用しやすくなった。また同じくお茶会イベントを皮切りにGWにかけて読み聞かせ他多くのイベントを開催した。

4/25 まちライブラリーお茶会@ららぽーと甲子園
4/30 わくわくおはなし会
他

スタジモにしのみや

イベント参加数:40人
来場者数:2,227人

「にしのみやオススメ店マップ計画」はあまり参加者が集まらなかったものの、会自体は楽しく、各日次々に出るお店の情報を皆で共有し、あっという間に時間は過ぎた。現在スタッフがそれらの情報を地図に落とし込む作業に追われているところ。
「みやたん・みにゃっこを探せ！」は常設イベントで、大人も子どももみやたんファンが嬉しそうに景品を持って帰られていた。
なお、今年は各スポットのイベント詳細が掲載されなかったからか、パンフレット片手にいらっしゃる参加者様はほとんど見受けられなかったように思う。

5/14（火）10:30-12:30
「宮っ子が寄れば文殊の知恵！ にしのみやオススメ店マップ計画」＜ランチ編＞
5/17（金）18:30-20:30
「宮っ子が寄れば文殊の知恵！ にしのみやオススメ店マップ計画」＜ディナー編＞
5/19（日）16:30-18:30
「宮っ子が寄れば文殊の知恵！ にしのみやオススメ店マップ計画」＜集約編＞
～5/19（日）10:00-21:00「みやたん・みにゃっこを探せ！」

担当者／レポート：湯川郁子・武江倫子

まちのね文庫@HAMACO：LIVING

イベント参加数：30人

子ども向けの紙芝居はご近所の住民さんが読み手となってイベントを盛り上げてくれました。
合間には気分転換にと親子体操やベビーマッサージの先生と一緒に体を動かし、1時間でしたがみなさん最後までしっかり紙芝居を楽しんでくれました。
大人向けの読書交流会は　ブックフェスタのパンフレットを見て来てくださった方を含めた7名の参加でしたが　性別・年代・国籍を超えた交流が図れました。
どちらのイベントも日頃利用されない方の来場もあり、この場を知ってもらえるいい機会となりました。
初めてのイベントでしたが、本を通して人と出会うということ、本が持つ力を実感しました。
（主催　一般社団法人まちのね浜甲子園）

5/11（土）紙芝居in HAMACO:LIVING
5/11（土）私のおススメ！読書で交流会

オーナー／レポート：武田恵子

西宮市立北部図書館

イベント参加数：32人
来館者数：7433人

「つくって！あそんで！はらぺこあおむし」のおはなし会を行いました。写真絵本『うまれたよ！アリ』山口進/写真（岩崎書店）を読み終わると、「私、テントウムシのさなぎを見たことがある！」の声。「どんなのだろう」と、図書館にあった同じシリーズの本『うまれたよ！テントウムシ』中瀬潤/写真（岩崎書店）で、テントウムシのさなぎの写真をみんなで確認し、参加している大人も子供も「へえ～」。その後は画用紙であおむしをつくって葉っぱを食べさせて遊びました。

参加者の中には、図書館のイベントに、今回はじめて参加したという方もおられ、今後も参加したいという、うれしい声もありました。

5/19（日）11：00、15：00
「つくって！あそんで！はらぺこあおむし！」

担当者／レポート：ヨミーナ

HYOGO 神戸・岡本

レオニダスまちライブラリー
まちライブラリー@娑羅樹
まちライブラリーat mahisa
まちライブラリー@café tuoli
まちライブラリー@ひつじ茶房
まちライブラリー@ひとひ
まちライブラリー@Synergy
ラクソン・ライブラリー
カフェ・ド・ユニーク・ライブラリー
アリオリオまちライブラリー
好文園まちライブラリー
riche まちライブラリー
C+ozy Caféまちライブラリー
にわ・とりのすけ　まちライブラリー
クワンチャイ図書館
甲南そば　まちライブラリー
辰巳茶房まちライブラリー

HYOGO 神戸・三宮周辺

まちライブラリー@CRESE
まちライブラリー@ふたば学舎
神戸市立兵庫図書館

HYOGO 須磨・西神

まちライブラリー＠高倉台団地301
西神まちライブラリー
井戸書店

西神まちライブラリー

来場者数：50人

コープ西神前のテナント一角にある「西神まちライブラリー」は地域のボランティアの皆さんで運営されています。オープンから２年が過ぎた今ではすっかりみんなの居場所として地域の方に愛されています。お買い物帰りや幼稚園の送り迎えの際に立ち寄っておもちゃや絵本で楽しむ親子の姿や、日曜日にはお仕事がお休みの方がゆっくり時間を過ごされる様子などが見られ、お子様からシニアまで様々な年代の方々が来館されています。

毎月絵本の読み聞かせや、紙芝居が行われています。就園前の子どもたちも大人も物語に思わず引き込まれてしまいます。

ワークショップも開催されています。写真は夏休みの宿題向けの工作や手芸「宿題どないやるウィーク」の様子。たくさんの子どもたちが参加してくれました。

担当者／レポート：コープこうべ第5地区活動本部

HYOGO 明石

多文化まちライブラリー＠まんまるあかし
まちライブラリー＠ふくやま病院
まちライブラリー＠高砂toco-toco
あかし市民図書館

HYOGO 姫路

まちライブラリー＠コワーキングスペースmocco
まちライブラリー＠コープのつどい場
福さき　まちライブラリー＠つばめ野
ももかいくなりまちライブラリー
つなぐデザインまちライブラリー
株式会社　井上書林
森井書房

まちライブラリー@コワーキングスペースmocco

イベント参加者数：80人
来場者数：30人/日

　イベントを通して、当スペースにライブラリーがあることや「まちライブラリー」について知っていただくことができました。「本の木」(好きな本のタイトルを付箋に書いて貼っていく参加型展示)や、本の展示ブース(ライブラリーコーナー＋イベント特設)には、普段から当スペースをご利用の皆さまがご参加くださり、「本」を介して利用者様間に会話が生まれたり、普段本をあまり読まない方が興味を持ってくださったりと、思い思いに楽しんでいただけたようです。「本の木」は現在もゆっくりと成長しており、今後の成長が楽しみでもあります。
　トークイベントは、「本×小商い」「本×まち」という2つのテーマで開催いたしましたが、どちらも参加者の方々が前のめりに聞き入っていらっしゃる姿が印象的でした。イベント終了後にも積極的な意見交換が行われており、ぜひ来年のフェスタ期間も本にまつわるトークイベントを開催できればと思います。

撮影:クロギタロウ

撮影:SAKASAKA WORKS

5/3-4（金・土）10:00-18:00
「Live!Live!Library!『本の木』がつなぐあなたの好きな本」
5/3（金）18:00-20:00
「南町Talking weekend vol.2ちいさくはじめて、コツコツ育てる『小さな本屋はじめました』」 ゲスト：古書みつづみ書房店主 三皷 由希子氏(対談：書漂家 黒木太郎氏)
5/19（木）19:00-20:00
「本でつながる×まちでつながる」ゲスト：まちライブラリー提唱者 礒井 純充氏

担当者／レポート：野村 綾音

HYOGO 加西

まちライブラリー＠網引ステーション
まちライブラリー＠周遍寺
うずらの南お大師堂まちライブラリー
まちライブラリー＠ええもん王国
いこいの村ライブラリー
まちライブラリー＠ムナール
根日女創作倶楽部＠まちライブラリー
北条町駅まちライブラリー
市立加西病院まちライブラリー

NARA 奈良駅周辺

まちライブラリー＠奈良カフェ にこちゃん堂
奈良県立図書情報館
Naramachi BookSpace ふうせんかずら

奈良県立図書情報館

来場者数：39370人

「世界のブックデザイン」は、当館開館以来14回目を迎える本の展示会であるが、回を重ねるごとに、さまざまな国の優れたブックデザインに直に触れることができ、また、東京と当館のみの開催ということもあり、毎年楽しみにしてくださっている方々も多い。期間中は、コンサートや一人芝居などの公演もあり、多くの方々に観覧いただけた。

担当者／レポート：乾　聰一郎

NARA 生駒

まちライブラリー＠生駒
まちライブラリー＠学びスペースfuyuSharing
オーブリー・ビアズリー文庫
生駒市図書館

生駒市図書館

イベント参加者：10人

まちライブラリーブックフェスタのパンフレットやスタンプカードをカウンター横に置いていたため、貸し出し・返却手続きの際に手に取り眺めている利用者を見かけた。

期間中の開催イベント（ビブリオバトルinいこま）については、まちライブラリーブックフェスタと当館のイベントとの関連についての質問を受けることがあり、興味付けの効果があったように思われた。

4/21（日）14:30-16:00「ビブリオバトルinいこま」

担当者／レポート：生駒ビブリオ倶楽部

NARA 大和高田 香芝・桜井 橿原

まちライブラリー＠＆香芝
まちライブラリー@ものづくりガレージBFW
まちライブラリー@大和高田はるえ文庫
まちライブラリー@杉の子文庫
まちライブラリー@cafe棚の森
まちライブラリー@atsushibaギャラリー
まちライブラリー@さくらいほんまちライブラリー
まちライブラリー@自遊空間ゼロ

まちライブラリー@大和高田はるえ文庫

通常通り開館しました。

まちライブラリー@＆香芝

イベント参加者：33人
来場者数：週に3人程度

《初開催！！ブックフェスタ》4/27～5/5 まちライブラリー@＆香芝で行なわれた初めての「まちライブラリーブックフェスタ」 読書会「自分で奇跡を起こす」＆高田慎一さん（ライフコンパス認定コーチ）の体験談・奇跡についての考え方が変わり奇跡を起こす連鎖がうまれた！！ ・500年の子育て飴のリレー講演会　創業江戸時代、慶長の頃から現代まで続く「みなとや幽霊子育て飴本舗」のおはなしとその原案を元に作られた演劇「500年の子育て飴物語」について みなとやの末裔高田さんと脚本・監督による川本さんに講演して頂きました。最終日はメモの魔力の実践をおこないました。これまでにないメモの取り方等学べました。

4月27日（土）13:30-15:00　読書会「自分で奇跡を起こす方法」
4月27日（土）17:00-18:30　読書会「日本が売られる」
5月 4日（土）10:00-11:30　読書会「人生に必要な知恵はすべて幼稚園の砂場で学んだ」
5月 4日 (土）13:30-15:00　読書会「一人ぼっちを笑うな」
5月 4日 (土）17:00-18:30　読書会「そして父になる」
5月 5日（日）10:00-11:30　読書会「メモの魔力」

担当者／レポート：梶正人

まちライブラリー@杉の子文庫

今年度から、毎月１回、第２水曜日に「おはなし会」を開催しています。
現在は、地域の子育て支援団体である「西池尻子ども広場」と協力し、子どもたちの居場所づくりのなかで、本との出会いを提供できればと、活動を続けています。

NARA 奈良 法隆寺

まちライブラリー@ロハス
まちライブラリー@池のほとり
まちライブラリー@まごころ大和便

NARA 吉野・宇陀

人文系私設図書館　Lucha Libro
まちライブラリー@天の川温泉
まちライブラリー@あきののゆ

KYOTO 京都 市内

まちライブラリー@梟文庫
まちライブラリー@小さなアートの図書室
miniライブラリー
まちライブラリー@Study Room
まちライブラリー@京都市東山青少年活動センター
まちライブラリー@凸凹ことのは舎

KYOTO 京都郊外

まちライブラリー＠龍馬館in京田辺
たなくら文庫
生涯学習施設・道の駅「ガレリアかめおか」
コラボオフイス　トライアングル

5/11（土）14:00-16:00「亀岡にまちライブラリーをつくろう！」 プレ・イベント Part2！！

2018年度の亀岡市シンボルプロジェクトとして「亀岡にまちライブラリーをつくろう！」を目標に活動してきましたが、企画発表会で残念ながら落選となりました。しかしそれをきっかけに、「まちのため」のまちライブラリーづくりから、「わたしのつくりたい」まちライブラリーを考えてみようと、２回目のプレ・イベントを開催しました。
まずは持参した本で自己紹介、イソから「わたしとまちライブラリー」と題した話題提供をして、その後、自分のつくりたいまちライブラリーを自宅、地域、職場などのシチュエーション別に考え、発表しました。
あらためて「亀岡にまちライブラリーをつくろう！」と活動を続けていくきっかけとなるイベントでした。

2018年度亀岡市シンボルプロジェクト
「亀岡にまちライブラリーをつくろう！」グループ／レポート：イソカツミ

HYOGO・KYOTO 福知山

まちライブラリー福々Books
まちライブラリー＠サクラティエ
うらら　まちライブラリー
まちライブラリー＠きのこ文庫

まちライブラリー福々Books

月に一度のイベントや通常開館で来られる人というのは、基本的には地域の方や近隣の大学生等がほとんどです。
少し遠い地域からの来館者獲得と、他のまちライブラリーさんがどういった内容のイベントをされているかを知りたくて、参加させていただきました。
こちらで準備した事は特にありませんが、毎月本の交流会をしておりますので、期間内の4月20日と5月18日の二日間は
地域の方や大学生が何名か集まって、各々のオススメしたい本について話をし合いました。

SHIGA 滋賀

まちライブラリー＠彦根・遙信舎
まちライブラリー＠彦根・治部少丸
まちライブラリー@MOTOSTAND
キンモクセイ文庫

5/4（土）13:00-18:00
「Girls Meet Books～ガールズ、映画で本と出会う～」

今回、初めてのイベント参加だった。知人への声掛けとFBによる告知からの参加してくださる方がほとんどだった。パンフレットを置いておいたら、それを見て、他のスポットやイベントに興味を持ってくださる方もいて、主催参加同士で他の活動を宣伝するのは、良い広報活動になりそうだと思った。
参加者の多くは、主催側と面識があったが、世代を超えた交流も見られ、和やかな空間になった。唯一、飛び入りで参加してくださった方は、借りていた会場のオーナーが声を掛けてくださった方で、こうして人の輪は広がっていくのだと実感した。今回、フリートークタイムがほとんどだったので、次回はブックトークを行えるよう、魅力ある企画を立案したい。参加者8人。

主催／レポート：金子　由里恵

キンモクセイ文庫

来館者数：2人

今回「キンモクセイ文庫」として初めてスポット参加いたしましたが、滋賀県のブックスポットとして参加しま
　した事で、より多くの方にまちライブラリーブックフェスタの事を知って頂ける良い機会となりました。期間中
　もあるテーマ（季節や誕生日・命日の人物）の本をまとめたコーナーを設けたり、別のスポットでのイベント
　内で「出張キンモクセイ文庫」の形で蔵書や布絵本を持参しイベントに参加の方にお見せしたりしました。

WAKAYAMA 和歌山

まちライブラリー＠マイパレット
まちライブラリー＠こざがわ本棚

TOKUSHIMA 徳島

ビブリオラボとくしま

ビブリオラボとくしま

イベント参加者：40人

5/11（土）12（日）
「ひとはこのみの市とブックトーク」

ビブリオラボとくしまは、徳島で5月11日、12日に「ひとはこのみの市とブックトーク」を開催しました。
「ひとはこのみの市（古本と小物市）」では、好天にも恵まれ、二日間で延べ40名以上の参加がありました。ゆるい企画でしたが、本を通してコミュニケーションが広がり、ついつい話し込んでいるという光景もいくつも見られました。
「ブックトーク（読書会）」の方にも13名の参加があり、大いにもりあがりました。大幅に時間オーバーとなり、またしてもウィアードカフェさんにご迷惑をおかけした次第です。今回は、大学生の参加が多かったのが特徴でしょうか。一般社会人の方々とお話ししたり本について語りあったりと、学生たちにとってもいい体験となったようです。

オーナー／レポート：依岡隆児